

■R02. 11. 02 記者会見内容

日時 令和2年11月2日(月) 午前11時～午前11時30分

場所 703会議室

出席 市長、企画部長、教育次長、企画調整課長、都市デザイン課長、図書館長
酒田記者クラブ 9社(山形新聞、荘内日報、読売新聞、河北新報、毎日新聞、朝日新聞、YBC、TUY、NHK)

■市長発表内容

【酒田駅前交流拠点施設ミライニのオープン等について】

いよいよ差し迫ってきた、今月の11月28日(土)にオープンする酒田駅前交流拠点施設ミライニについて発表する。

ミライニについては、令和4年度のグランドオープンまでの間、観光案内所と一部の施設(暫定利用)をオープンする。図書館、立体駐車場及び広場の供用開始は、令和4年度を予定している。11月28日のオープンに先駆けて、11月14日(土)に一般向けの内覧会をホテルの運営事業者などの民間事業者と合同で開催する。先月募集したところ、大変多くの皆様から応募があった。市民の関心が高いと感じている。オープン当日については、光の湊が主催で、関係者のみで神事、オープンニングセレモニーを実施する。なお、ミライニについては、オープンニングセレモニー終了後、午前11時30分から一般開放となる。翌日の29日以降は午前9時から開館する。閉館は午後7時となっている。また、28日と29日の両日に限り、1階から3階までを開放し、出来るだけ多くの方が見学できる体制も急遽とることとした。新型コロナ禍であることや立体駐車場完成までは時間がかかることから、周辺民間駐車場の利用や公共交通機関などでのご来場をお願いする。令和4年度のフルオープンまでは、利用者の皆様にご不便をお掛けするが、完成部分を市民の皆様に見ていただきたいという思いもあり、一部ではあるが開館をするという判断をした。今後フルオープンとなると図書館が移転してくるわけだが、全力を挙げて運営していきたいと思っている。

記者/駅前交流拠点施設ミライニの再開発事業について、市として再開発を行うに当たっての狙いと今後の展望をお聞かせ願いたい。

市長/ミライニは、図書館、観光案内所、ホテル、マンション、立体駐車場、バスターミナル、商業施設の複合施設となる。長年駅前が空き地になっており、駅前、酒田市の顔としては大変さみしい状況で推移してきた。そのため、ミライニが駅前のにぎわいの拠点となるよう整備をした。市民はもちろん、観光客など多くの方々から利用してもらい、酒田の活性化の一助となってほしいというのが狙い。今回は一部オープンという形になるが、令和4年度に図書館、立体駐車場、商業施設やマンションといったものが完成すれば、「駅前」という立地条件からしても、一定のにぎわいが創出される。また、

周辺に小学校や高等学校もある。大いに子供たち、生徒たちから使ってもらい、地元への愛着を施設を通じて強めてもらいたい。そういった思いを持って市街地再開発事業に取り組んだ。「ミライニ」という名前からも想像できるが、「未来に」この地域で頑張る人たちの研修施設、活動の場になってほしいという思いを強く持っている。

【懇談・フリー質問】

記者／先だってプロ野球のドラフト会議が開かれ、東北公益文科大学4年生の赤上優人投手が西武ライオンズの育成ドラフトに選ばれた。それについて市長の所感を伺いたい。市長／酒田市は大学街づくりという理念を持ち、大学と地域が一体となって街づくりに取り組むという環境を整えたいという思いで市政に当たってきた。今回赤上投手がドラフトで西部へというのは、地域を元気づける良い話題だと思っている。とりわけ、東北公益文科大学についても、存在感を示す良いきっかけになる。野球やサッカーに力をいれてきたので、それが実績として示されたというのは嬉しい。東北公益文科大学OBとして活躍してもらいたい。昨今、中日の石垣選手や楽天の下妻選手など、この地域出身で、プロで頑張る若者が増えてきている。ぜひプロ野球界でも酒田を大いに売り込んでいただければありがたい。今後も東北公益文科大学と共に応援をしていく。一軍の世界で活躍できるよう、ケガをしないよう頑張っていたきたい。

記者／県知事選挙がこの冬行われるが、酒田市長としてどのような見方をされているかお聞かせ願いたい。

市長／ようやく選挙戦になる。これから立候補される方の政策等をしっかりと見て判断をしていきたい。いずれの方々も山形県を良くしたいという思いを持ち、手を挙げられたと思うので、ぜひ頑張っていたきたい。私としては、山形県全体、庄内、酒田の問題について、立候補される方がどのような公約を示すのかを見極めて自分の立ち位置を判断していきたいと思う。

記者／今の質問に関連して、市長としては県に対して具体的にはどのようなものを求めているか。

市長／港湾管理者が山形県であることから、酒田港についてしっかりと整備を進めていただいている。地域の懸案である高速道路交通網。日本海沿岸高速自動車道であるとか、新庄・酒田高規格道路、山形自動車道の月山越えの部分といった課題が多くある中で、引き続き県からはしっかりと取り組んでほしいという思いがある。また、地域の課題としてはゼロカーボン社会の推進という動きの中でエネルギー産業を抱える地域としていろいろな課題がある。その点について県の重点施策の位置づけや、東北公益文科大学の公立化に向けた動きなどを地域の大きな課題として認識している。コロナ禍により地域経済が疲弊しているので産業振興が一番の重点だと感じている。その中で酒田らしさという「日本一女性が働きやすい街」というものを宣言している。女性が活躍できる地域環境づくりにも県からは特段の支援をいただきたいといった思いでいる。